

令和7年度  
事業報告及び計算書類

令和7年4月 1日から

令和8年3月31日まで

一般財団法人  
長岡花火財団

# 一 目 次

1. 令和7年度事業報告	1
2. 令和7年度計算書類	1 1

# 令和7年度 事業報告

一般財団法人長岡花火財団

令和7年度 事業報告  
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

1. 週末開催で増えるお客様へ安全性と満足度の向上  
～ 絶対無事故・お客様目線での花火大会の企画・運営 ～

(1) 2025長岡まつり大花火大会の開催結果

- ・2025年8月2日(土曜日)、3日(日曜日)
- ・観覧客数 8月2日 17万人 3日 17万人 計34万人
- ・大型花火台数 各日39台 計78台(2024大会と同数)

(2) 主な花火の内容

- ・天地人、故郷はひとつ、この空の花、HOPE TO THE FUTER(未来へ)、米百俵花火尺玉100連発を長岡ゆかりの音楽で打上げ。復興祈願花火フェニックスは楽曲開始前に白一色の花火の一斉打上を行い、従来から深化(進化)する試みを実施
- ・冒頭のスターマイン「カノン～この先に続く道(ミライ)に向かって～」では、花火大会の期待感、規模感を演出

(3) 安全対策の内容

- ・フリーエリアの入場規制による雑踏の未然防止対策の実施(右岸大手大橋下流エリア、初実施)
- ・左岸大手大橋下流に「ブロック指定席」を新設し、待機列の削減を促進
- ・混雑エリアの対策(R4よりウオロク前の道路を封鎖し開放せず雑踏発生防止を継続実施)
- ・民間警備員を2日間で約1,800人、市案内誘導員約880人の動員に加え、警察、消防、JR長岡駅等、総勢約4,900名が一丸となった体制でスムーズ、かつ適切な広報・誘導で安全対策を行い、大きな事故も無く大会を終了
- ・熱中症対策として当日会場へミストファンを増設
- ・長岡警察署、警備会社、主催者において、花火大会終了後の雑踏事故防止及び交通誘導等に関する打ち合わせ会及び現場確認を引き続き実施
- ・「無事故の花火大会」を目指すことを目的に、長岡まつり大花火大会の設営業者の代表(松田組)と長岡花火財団の参与を代表とした「長岡まつり会場安全協力会」を開催し、主催者と設営業者の連携体制の強化を引き続き促進

(4) 熱中症・感染症対策の内容

- ・入退場時間の分散化や会場内での消毒液の設置など、感染症対策を実施

(5) 交通対策の内容

- ・シャトルバス運行は、昨年同様本数をしっかりと確保することで安定的な運行を実施

【2日、3日の合計】

	国営越後丘陵公園～ クスリのアオキ大島店	南部工業団地臨時バス～ 長岡市立劇場	悠久山臨時バス～ 長岡駅東口
駐車台数(台)	3,600	2,593	1,520
利用人数(人)	18,919	14,755	6,649

- ・2019 大会から実施した、駐車場予約サービス「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を継続実施に加え、「民間協力駐車場」を開拓。公式駐車場、民間協力駐車場、シェア駐車場（軒先パーキング）の登録数は2日間で約 22,600 台(2024 大会は約 16,900 台)を超え、駐車場不足解消に一定の効果
- ・当日は HP・SNS・長岡花火公式アプリにて駐車場情報をリアルタイムで発信
- ・長岡警察署、警備会社、主催者において、花火大会終了後の雑踏事故防止及び交通誘導等に関する打ち合わせ会を新規実施。(新規：再掲)

## (6) 広報対策の内容

- ・テレビの生中継による全国への発信
  - 2日：NHKBSプレミアム、NCT
  - 3日：NCT
  - ※インターネット配信（YouTube 生配信）も実施
  - YouTube では8月3日の 20：20 ごろに最大同時視聴者数が 117,385 人を記録。(過去最高)
- ・民放各社のテレビスポット CM や公式 HP・SNS を活用して、花火会場の情報など様々な情報を積極的に発信
- ・新潟県警の公式 X (旧 Twitter) と連携し、マナー喚起や路上駐車取締強化のお知らせなどの周知

## (7) チケット販売の内容

- ・全席有料観覧席化を継続、ベンチ式マス席の増席などにより 2024 大会から各日約 2,000 人分観覧席を増席
- ・前年同様、4月10日からチケット販売を開始
- ・市民先行販売を継続実施（専用ハガキで受け付け）  
その後の一般販売はインターネットのみで実施 ※昨年に引き続き全席完売
- ・転売対策のため、チケットを記名式に変更。これにより、大手フリマサイトから出品不可や、削除対象とする協力を得た

## (8) 長岡花火の進化に向けた取組内容

- ・花火大会を取り巻く環境や意識が大きく変化するなか、環境に配慮した花火の研究に取り組み、人にも環境にも優しい持続可能な花火大会を継続運営していくため、産官学共同での長岡花火の研究を開始させるべく、国立開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人横浜国立大学及び国立大学法人長岡技術科学大学と研究契約を締結し、研究をスタートした。

8/2 大手大橋下流フリーエリア入場規制決断時



8/2 長生橋上空ドローンメッセージ





## 2. 長岡の誇りを伝える活動の展開

### (1) 情報発信拠点の利活用

- ・アオーレ長岡シアター入口の「長岡花火情報室」での花火玉や打上筒の展示のほか、NPO法人ネットワーク・フェニックスと連携協力しながら、長岡花火の歴史等の普及啓発
- ・隣接のアオーレ長岡シアターでは、長岡花火映像コンテンツの上映（令和7年度アオーレシアター利用者数 10,548人）
- ・「道の駅ながおか花火館」での、Tシャツやタオルなどオフィシャルグッズの販売や、2025長岡まつり大花火大会の映像をまとめたドームシアターコンテンツの制作

### (2) 学校等への訪問活動（伝承活動）

#### ① 統一コンテンツの活用

- ・次世代を担う子どもたちに、長岡まつりの起源を伝えるとともに、長岡花火に込められた想いを通して長岡に誇りを持ってもらうため、長岡花火アニメーション（かこパッド）を活用した小中学校への長岡花火普及啓発活動を実施。
- ・令和7年度財団実績：9校2団体807人

長岡花火普及啓発活動の様子（川崎東小学校）



### (3) ボランティア活動による人材育成

#### ① 早朝清掃の実績

花火大会終了後の8/3・4両日合わせ、61団体2,507名からご協力いただいた

#### ② ボランティア活動を通じた人材育成の強化

- ・フェニックスボランティアを中心に、フェニックス花火の募金や長岡花火の普及・啓発活動などを通じて、ボランティア人材の育成
- ・フェニックス花火協賛金（令和7年度） 14,579,866円  
（うち、8,011,663円はクラウドファンディングによるもの）

## 3. 長岡花火ブランドの全国・世界発信

### (1) 長岡花火打ち上げによる発信事業

#### 《長岡花火財団主催事業》

#### ① 長岡花火ハロウィンファンタジー2025（新規）

- ・国営越後丘陵公園と連携し、長岡花火のブランド力向上と、秋期の観光資源の核として開催  
日時 令和7年10月25日（土） 18:00～花火打ち上げ  
会場 国営越後丘陵公園  
来場者数 4,000人  
内容 ミュージックスターマイン6台



会場の様子・大げやきのライトアップ

#### ② 長岡花火 ～雪花火2026～（新規）

- ・雪しか祭りの開催が一区切りとなり、今年度から冬の長岡花火として財団主催事業として開催  
日時 令和8年2月21日（土） 18:15～花火打ち上げ  
会場 観覧会場は用意せず、公式YouTube等からのオンライン視聴を推奨  
視聴 同時視聴：1,131人、翌日までに視聴：4,986人  
内容 10号三段打ち1台、スターマイン2台、メッセージ花火19台

#### 《花火打ち上げ事業へ参画》

#### ① 第30回ホノルルフェスティバル 長岡花火 in Honolulu（天候不良のため中止）

- ・花火の打上が中止になったことから、ハワイコンベンションセンターにおいて、長岡市と連携し長岡花火PRブースの運営を行った。

日時 令和8年3月14日（土）～15日（日）

会場 ハワイ州ホノルル市コンベンションセンター（ワイキキビーチ沖の花火は中止）

## 《長岡花火打ち上げの支援》

### ① 長岡花火ローズファンタジー（4回目）

- ・ 国営越後丘陵公園の主催により、年間を通じた長岡花火のプロモーションとして開催

日時 令和7年6月14日（土） 19:30～花火打ち上げ

会場 国営越後丘陵公園

来場者数 2,666人（主催者報告） ※雨天のため例年より減少

内容 スターメイン 7台

### ② フェニックス感謝祭（新規）

- ・ フェニックス花火が開催してから20年、ご支援と感謝の気持ちを込めて開催

日時 令和7年11月2日（日） 17:30～花火打ち上げ

会場 東山ファミリーランド

内容 メッセージ花火3台、スターメイン2台

### ③ 豊田小学校 きずな学年による花火の打ち上げ（長岡市立豊田小学校6年生）

- ・ 豊田小学校の児童から「自分たちの花火を上げたい」と、財団に協力要請があったことから、長岡花火の打ち上げを支援。財団は花火業者や地元農家組合との調整、音響の設置等を行ったほか、NPO法人ネットワーク・フェニックスからも、長岡花火の出前講座や募金活動について協力をいただいた。

日時 令和7年11月28日（金） 花火の打ち上げは午後5時10分から午後5時30分まで

会場 長岡市町田町地内（豊田小学校近くの田んぼ）

内容 白菊、復興花火（単発花火）、スターメイン

参加者 豊田小学校児童、保護者、募金に協力いただいた商店の方（約200人が観覧）

協力 NPO法人ネットワーク・フェニックス、長岡煙火協会、立川病院

#### 長岡市町田町地内での打ち上げ



## (2) インバウンドへの取組内容

- ・専用ホームページ「International Visitor's」を作成し、外国人専用サイトを運営。チケットの申し込みから長岡まつり大花火大会会場までの総合案内を実施
- ・専門チケットセンターを長岡駅前のディアプラザ内に設置。当日のチケットの受け渡しから、会場案内等を実施

業務委託期間 令和7年4月1日から9月30日

- 業務内容
- ・外国人専用サイトの開設、運営、管理
  - ・海外からの問い合わせメール対応
  - ・観覧席のインターネット販売（抽選）。
  - ・当日のチケット受け渡しと会場案内

インバウンド専用チケットセンターの開設(ディアプラザ内)



## 4 組織力の強化

### (1) 長岡花火応援企業・団体との連携強化

- ・年間を通して長岡花火を応援する企業団体と「長岡花火オフィシャルパートナー協定」を締結し、互いに効果を共有できる関係を構築（2026年3月31日現在 38社）



- ・一部のオフィシャルパートナーからは、観覧席チケットをフードバンク等に寄付する花火財団の社会貢献活動にご協力いただき、各日 60 枚、合計 120 枚を子どもたちに届けることができた。

## (2) 災害等のリスクへの対応

- ・風水害等の不測の事態に備え「円定期預金（1年）」へ新たに1億円を預け入れ。  
※基金の一部は債券（国債）として保有

## (3) 自主財源の確保、財政負担の軽減

- ・役員賠償責任保険団体制度への加入（補償限度額：保険限度額1億円、法人訴訟及び身体障害・財物損壊等の特約を含む。）
- ・花火大会の中止・延期に備えるための興行中止保険への加入（補償限度額：約7.2億円）
- ・損害賠償保険、煙火消費保険への加入

## 5 理事会の開催

第1回（書面決議） 令和7年4月1日（火）

議題 ・常務理事の選定について

第2回 令和7年5月14日（水）

議題 ・令和6年度事業報告・計算書類・付属明細書の承認について  
・役員（理事及び監事）候補者の決定について  
・令和7年度定時評議員会の招集について  
・評議員候補者の決定について

第3回（書面決議） 令和7年6月2日（月）

議題 理事の選定について

第4回 令和7年9月30日（火）

報告 ・2025長岡まつり大花火大会実績報告について  
・今後の財団運営及び事業について

第5回 令和7年12月17日（水）

議題 ・2026長岡まつり大花火大会の方針について  
・2026長岡まつり大花火大会の全体スケジュールについて  
報告 ・ハロウィンファンタジー等、実施事業について  
・事務所拠点の移転等について

第6回 令和8年3月23日（月）

議題 ・令和7年度補正予算について  
・令和8年度事業計画（案）、予算（案）について  
・理事の辞任に伴う補欠理事の候補者の決定について  
・令和7年度臨時評議員会の招集について  
・役員賠償責任保険の承認について

- 報告 ・実施事業について  
・事務所拠点の移転等について

## 6 評議員会の開催

定時評議員会 令和7年6月2日（月）

- 報告 ・令和6年度事業報告について  
議題 ・令和6年度計算書類承認について  
・役員を選任について  
・評議員を選任について

臨時評議員会 令和8年3月27日（金）

- 議題 ・理事を選任について  
報告 ・令和7年度補正予算について  
・令和8年度事業計画・予算について  
・2026長岡まつり大花火大会プログラム骨子について

## 事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

# 令和7年度 計算書類

一般財団法人 長岡花火財団

## 貸借対照表

2026年 3月31日現在

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	170,414,292	204,606,544	△ 34,192,252
未収金	7,744,621	190,237	7,554,384
前払費用	785,360	454,300	331,060
未収消費税等	8,276,900	0	8,276,900
流動資産合計	187,221,173	205,251,081	△ 18,029,908
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
災害等対策基金特定資産	362,892,011	362,050,871	841,140
特定資産合計	362,892,011	362,050,871	841,140
(3) その他固定資産			
建物	5,361,778	0	5,361,778
構築物	801,517	0	801,517
什器備品	2,569,269	0	2,569,269
一括償却資産	866,354	0	866,354
敷金	450,000	0	450,000
その他固定資産合計	10,048,918	0	10,048,918
固定資産合計	382,940,929	372,050,871	10,890,058
資産合計	570,162,102	577,301,952	△ 7,139,850
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	35,005,293	4,496,614	30,508,679
未払法人税等	29,424,900	113,033,600	△ 83,608,700
未払消費税等	0	31,051,200	△ 31,051,200
流動負債合計	64,430,193	148,581,414	△ 84,151,221
負債合計	64,430,193	148,581,414	△ 84,151,221
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 25,000,000)	( 25,000,000)	( 0)
2. 一般正味財産	470,731,909	393,720,538	77,011,371
(うち特定資産への充当額)	( 337,892,011)	( 337,050,871)	( 841,140)
正味財産合計	505,731,909	428,720,538	77,011,371
負債及び正味財産合計	570,162,102	577,301,952	△ 7,139,850

# 正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 19,478 ]	[ 19,478 ]	[ 0 ]
基本財産受取利息	19,478	19,478	0
特定資産運用益	[ 841,140 ]	[ 50,871 ]	[ 790,269 ]
特定資産受取利息	841,140	50,871	790,269
事業収益	[ 1,423,425,614 ]	[ 1,336,047,167 ]	[ 87,378,447 ]
観覧席販売収益	1,294,854,160	1,274,800,330	20,053,830
駐車場協力金収益	110,378,000	50,489,900	59,888,100
各種販売収益	10,867,798	9,212,928	1,654,870
各種賦課金収益	25,656	25,009	647
業務委託料収益	7,300,000	1,519,000	5,781,000
受取補助金等	[ 71,786,906 ]	[ 68,819,572 ]	[ 2,967,334 ]
受取長岡市派遣職員人件費補助金	71,786,906	68,819,572	2,967,334
受取寄付金	[ 1,851,194 ]	[ 2,249,330 ]	[△ 398,136]
受取寄付金	1,851,194	2,249,330	△ 398,136
受取協賛金	[ 371,999,396 ]	[ 362,552,192 ]	[ 9,447,204 ]
受取現金協賛金	79,088,108	81,668,934	△ 2,580,826
受取広告協賛金	4,800,000	4,500,000	300,000
受取花火協賛金	265,702,897	244,975,097	20,727,800
受取フェニックス花火協賛金	14,579,866	25,198,161	△ 10,618,295
受取その他協賛金	7,828,525	6,210,000	1,618,525
雑収益	[ 9,843,734 ]	[ 817,334 ]	[ 9,026,400 ]
受取利息	611,524	213,680	397,844
雑収益	9,232,210	603,654	8,628,556
経常収益計	1,879,767,462	1,770,555,944	109,211,518
(2) 経常費用			
大会運営事業費	[ 1,468,994,019 ]	[ 1,218,617,664 ]	[ 250,376,355 ]
花火打上事業費	308,140,928	297,206,507	10,934,421
会場設営事業費	451,332,766	403,831,432	47,501,334
安全対策事業費	240,991,172	192,205,746	48,785,426
交通対策事業費	154,294,034	100,967,646	53,326,388
観覧席販売事業費	233,427,262	186,853,760	46,573,502
寄付懇請事業費	19,464,964	12,165,899	7,299,065
受入体制強化事業費	61,342,893	25,386,674	35,956,219
普及啓発事業費	[ 12,797,390 ]	[ 11,142,574 ]	[ 1,654,816 ]
普及啓発イベント事業費	3,251,390	4,773,074	△ 1,521,684
伝承活動事業費	9,546,000	6,369,500	3,176,500
ブランド発信事業費	[ 117,873,658 ]	[ 73,836,565 ]	[ 44,037,093 ]
情報発信事業費	25,514,625	20,759,489	4,755,136
海外発信事業費	32,147,897	11,046,386	21,101,511
情報発信拠点事業費	18,129,500	17,078,000	1,051,500

科 目	当年度	前年度	増 減
長岡花火打上プロモーション事業費	42,081,636	24,952,690	17,128,946
その他プロモーション事業費	[ 16,294,072]	[ 8,831,752]	[ 7,462,320]
その他プロモーション事業費	16,294,072	8,831,752	7,462,320
管理費	[ 186,796,952]	[ 256,570,394]	[△ 69,773,442]
人件費	89,778,162	83,202,409	6,575,753
施設費	29,201,606	14,919,094	14,282,512
その他管理費	67,817,184	158,448,891	△ 90,631,707
経常費用計	1,802,756,091	1,568,998,949	233,757,142
評価損益等調整前当期経常増減額	77,011,371	201,556,995	△ 124,545,624
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	77,011,371	201,556,995	△ 124,545,624
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	77,011,371	201,556,995	△ 124,545,624
一般正味財産期首残高	393,720,538	192,163,543	201,556,995
一般正味財産期末残高	470,731,909	393,720,538	77,011,371
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産期末残高	35,000,000	35,000,000	0
III 正味財産期末残高	505,731,909	428,720,538	77,011,371

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・総平均法による原価法によっている。ただし、償却原価法は重要性が乏しいため適用していない。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

建物、構築物、ソフトウェア・・・・・・・・定額法によっている。

什器備品・・・・・・・・定率法によっている。

#### (3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前（平成20年3月31日以前）の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後（平成20年4月1日以後）の所有権移転外ファイナンス・リース取引の内、リース料総額が少額（3百万円以下）のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、5,423,990円である。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
災害等対策基金特定資産	362,050,871	841,140	0	362,892,011
小 計	362,050,871	841,140	0	362,892,011
合 計	372,050,871	841,140	0	372,892,011

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
特定資産				
災害等対策基金特定資産	362,892,011	(25,000,000)	(337,892,011)	—
小 計	362,892,011	(25,000,000)	(337,892,011)	—
合 計	372,892,011	(35,000,000)	(337,892,011)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	5,453,116	91,338	5,361,778
構築物	822,067	20,550	801,517
什器備品	5,795,472	3,226,203	2,569,269
一括償却資産	1,299,530	433,176	866,354
ソフトウェア	31,613,900	31,613,900	0
合 計	44,984,085	35,385,167	9,598,918

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 投資有価証券 新潟県平成29年度第3回公募公債(額面1千万円)	10,000,000	9,767,000	△ 233,000
特定資産 投資有価証券 利付国庫債券463回2年(額面1億円)	99,799,000	99,840,000	41,000
利付国庫債券463回2年(額面1億円)	99,863,000	99,840,000	△ 23,000
合 計	209,662,000	209,447,000	△ 215,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 長岡市派遣職員 人件費補助金	長岡市	0	71,786,906	71,786,906	0	—
合 計		0	71,786,906	71,786,906	0	

## 計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記の2. において記載している。
2. 引当金の明細  
該当事項なし。

# 財産目録

令和8年 3月31日現在

一般財団法人長岡花火財団

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	普通預金	運転資金として	170,414,292
		第四北越銀行長岡本店営業部		156,048,482
		第四北越銀行長岡市役所支店		14,365,810
	未収金	ホノルルフェスティバル受託金他		7,744,621
	前払費用	倉庫賃借料他		785,360
	未収消費税等	消費税等		8,276,900
流動資産合計				187,221,173
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	新潟県平成29年度第3回公募公債		10,000,000
				10,000,000
特定資産	災害等対策基金特定資産		災害等対策の為の積立資産	362,892,011
		普通預金		
		第四北越銀行長岡本店営業部		63,230,011
		投資有価証券		
		利付国庫債券463回(額面1億円)		99,799,000
		利付国庫債券463回(額面1億円)		99,863,000
		定期預金		
		大和ネクスト銀行		100,000,000
その他固定資産	建物	山田事務所棟内部造作他		5,361,778
	構築物	山田倉庫棟アスファルト工事他		801,517
	什器備品	ノートパソコン他		2,569,269
	一括償却資産	収納庫他		866,354
	敷金	要町倉庫		450,000
固定資産合計				382,940,929
資産合計				570,162,102
(流動負債)	未払金	人件費補助金返金分他		35,005,293
	未払法人税等	法人税等		29,424,900
流動負債合計				64,430,193
負債合計				64,430,193
正味財産				505,731,909

# 監査報告書

一般財団法人 長岡花火財団  
理事長 高見 真二 殿

令和8年5月7日

一般財団法人 長岡花火財団

監事 鷺尾達雄 

監事 金本純子 

私たち監事は、当法人の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、それぞれ理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法と合わせて、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について監査いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告及びその附属明細書について

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書について

計算書類及びその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上